

略 歴

1932年11月12日 中国山東省青島市に生まれる

学 歴

1939年 4 月 中国河北省天津市淡路尋常小学校入学
1945年 3 月 中国河北省天津市淡路国民学校卒業
1945年 4 月 中国河北省天津市天津中学校入学
1946年 5 月 福岡県立浮羽中学校転入学
1949年 3 月 福岡県立浮羽高等学校併設中学校卒業
1949年 4 月 福岡県立浮羽高等学校入学
1952年 3 月 福岡県立浮羽高等学校卒業
1953年 4 月 九州大学理学部入学
1957年 3 月 九州大学理学部物理学科卒業
1957年 4 月 九州大学大学院理学研究科物理学・原子核実験学専攻入学
1958年 3 月 九州大学大学院理学研究科物理学・原子核実験学専攻中途退学

学 位 等

1957年 3 月 理学士号 授与（九州大学理学部）
1965年 9 月 理学博士学位 授与（九州大学 理博乙第27号）

職 歴

1958年 4 月 九州大学工学部助手（応用原子核物理学担当）
1966年 4 月 広島大学工学部助教授（応用物理学担当）
広島大学大学院工学研究科・応用物理学担当（1973年9月まで）
1970年 4 月 広島大学教養部講師併任（物理学担当，1974年5月まで）
1973年10月 広島大学 大学教育研究センター教授（大学教育内容・方法論担当）
1974年 6 月 広島大学総合科学部講師併任（物理学担当，1988年3月まで）
1975年 4 月 広島大学 大学教育研究センター長事務取扱（1976年4月まで）
1986年 4 月 広島大学 大学院社会科学部研究科 国際社会論・比較大学研究専攻
「比較大学教育論」担当 現在に至る
1986年 7 月 広島大学 大学教育研究センター長事務代理（1986年10月まで）
1987年 4 月 広島大学 大学教育研究センター長を併任（1993年3月まで）

受 賞 等

1994年 8 月 日本工業教育協会 業績賞 受賞

学会・協会等における活動

- (1) 日本物理学会会員 (1957年より現在に至る)
- (2) 日本物理教育学会会員 (1972年より現在に至る)
- (3) 大学史研究会会員 (1973年より現在に至る)
- (4) 民主教育協会会員 (1974年より現在に至る)
- (5) 日本教育学会会員 (1976年より現在に至る)
- (6) 一般教育学会会員・常任理事 (1979年12月より現在に至る)
- (7) 日本工業教育協会会員 (1982年より現在に至る)
- (8) 日本教育社会学会会員 (1985年より現在に至る)
- (9) 研究 技術 計画学会会員・参与 (1985年より現在に至る)
- (10) 大学基準協会・同協会あり方委員会 小委員会委員 (1993年4月より現在に至る)
- (11) 広島県職業訓練審議会委員 (1973年11月より1992年10月まで)

広島大学主要委員会等における活動

- 1969年2月 広島大学 大学問題検討委員会検討準備委員会委員 (1969年5月まで)
- 1969年5月 広島大学 大学改革委員会委員 (1970年3月まで)
同委員会資料担当委員 (1970年3月まで)
- 1969年11月 広島大学 大学改革委員会学内規則・処分制度専門委員会委員
(1970年3月まで)
- 1970年7月 広島大学 大学問題調査室調査員 (1972年4月まで)
- 1972年5月 広島大学 大学教育研究センター研究員 (1973年9月まで)
- 1978年4月 広島大学 統合移転・改革に関する基本計画委員会委員 (1979年4月まで)
- 1987年7月 広島大学 将来構想検討委員会委員・副委員長 (1989年4月まで)
同委員会 教育方法等改善専門委員会委員長 (1989年4月まで)
- 1988年4月 広島大学 文書保存委員会 専門委員会委員・副委員長 (1992年3月まで)
- 1991年9月 広島大学 教育研究整備基本計画検討特別委員会 (1992年3月まで)
同委員会 自己点検・自己評価システム開発検討専門委員会委員
(1992年3月まで)
- 1992年6月 広島大学 自己点検・評価委員会委員 (1993年5月まで)
- 1992年7月 広島大学 自己点検・評価委員会小委員会委員 (1993年5月まで)
- 1992年11月 広島大学 自己点検・評価委員会小委員会白書作業部会委員 (1993年5月まで)

研究業績等一覧

I 著書・研究報告書等

(1) 著書 (単著)

1. 関 正夫『日本の大学教育改革－歴史・現状・展望』玉川大学出版部，1988年10月，246頁。
2. 関 正夫『大学改革の諸問題－カリキュラム改革を中心にして：教育センター叢書 第1集』日本大学生産工学部教育センター，1990年10月，39頁。
3. 関 正夫『日本高等教育的改革動向』（中国語版）厦門大学出版社，1991年9月，172頁。
4. 関 正夫『21世紀の大学像－歴史的・国際的な視点からの検討』玉川大学出版部，1995年2月，271頁。
5. 関 正夫『日本の大学教育の現状と課題－歴史的・国際的視点からの考察－高等教育研究叢書 35』広島大学 大学教育研究センター，1995年3月，122頁。

(2) 共著書・編纂書等

1. 広島大学二十五年史編集委員会編『広島大学二十五年史一部局史』広島大学，（1977年3月，1127頁），第14編 第1章「大学教育研究センター」，991～1004頁。
2. 浜林正夫・寺崎昌男他編著『講座・日本の大学改革 3巻－大学教育の改革(2)』青木書店，（1982年11月，320頁）。第II部 8章「工学教育の改革」259～294頁。
3. 喜多村和之編『大学教育とは何か』玉川大学出版部，（1988年7月，241頁），第14章，「大学教育の現状・課題・展開－全国大学調査の概要」203～214頁。
4. 関 正夫編『大学教育改革の方法－Faculty Developmentの観点から－高等教育研究叢書 2』1990年3月，102頁。
5. 日本体育学会体育原理専門分科会編『大学教育改革と保健体育の未来像』不味堂出版，（1991年9月，249頁），第七章2節「大学の自己評価の方法を考える」182～190頁。
6. 喜多村和之・関正夫他共著『大学評価の理論的検討』広島大学 大学教育研究センター，（1991年3月，96頁），第2章「教育評価の原理と方法」21～48頁。
7. 金子元久・関正夫他編『広島大学 大学教育研究センター20年の歩み』広島大学 大学教育研究センター，（1992年10月，149頁），第I部「センターの歩み」1～27頁。
8. 広島地域社会研究センター編『現代高等教育論』広島地域社会研究センター，（1994年1月，199頁），第1講「日本の大学の現状と今後の課題」1～31頁。

(3) 研究報告書・文献目録等

1. 関 正夫・川上昭吾共著『アメリカ合衆国の主要大学に関する基本資料－大学研究ノート』第5号，広島大学 大学教育研究センター，1972年8月，122頁。
2. 関 正夫訳『工学系学生のための教養教育－アメリカ工業教育協会報告書－大学研究ノート』第13号，広島大学 大学教育研究センター，1974年，77頁。

3. 喜多村和之・関 正夫他 5 名共著『大学の組織運営に関する総合的研究－日本の大学における意志決定過程の現状と課題－大学研究ノート』第26号，広島大学 大学教育研究センター，1976年11月，162頁。
4. 関 正夫編『理科系学生に対する教養課程における自然科学教育に関する調査研究－大学研究ノート』第29号，広島大学 大学教育研究センター，1977年 3 月，112頁。
5. 関 正夫編『教養課程における理科系学生に対する自然科学教育の現状と課題－大学研究ノート』第34号，広島大学 大学教育研究センター，1978年11月，87頁。
6. 関 正夫編『理科系学生に対する一般教育の現状と課題－大学研究ノート』第46号，広島大学 大学教育研究センター，1980年 9 月，73頁。
7. 関 正夫編「工学系大学・学部の教育改革に関する事例研究－広島大学工学部改革調査－大学研究ノート』第53号，広島大学 大学教育研究センター，1982年 3 月，104頁。
8. 関 正夫編『日本の理工系大学教育の現状と将来像－大学研究ノート』第56号，広島大学 大学教育研究センター，1983年 3 月，78頁。
9. 関 正夫編『日本の大学教育の現状・課題・展望－カリキュラムとティーチングを中心に－全国大学調査報告－大学研究ノート』第62号，広島大学 大学教育研究センター，1985年 3 月，87頁。
10. 関 正夫編『理工系大学教育に関する文献目録－高等教育研究叢書 32』広島大学 大学教育研究センター，1995年 3 月，136頁。

(4) 事典類 (事項・項目等)

1. 関 正夫「高等教育」『世界歴史文化大事典』第 7 卷，教育出版センター，1985年 4 月，129～131頁。
2. 関 正夫「大学」『世界歴史文化大事典』第12巻，教育出版センター，1985年 4 月，34～39頁。
3. 関 正夫「大学令」『世界歴史文化大事典』第12巻，教育出版センター，1985年 4 月，40頁。

II 学術論文 (学会誌・紀要等)

(1) 高等教育関係－学術論文

1. 関 正夫「一般教育運動論」『大学論集』第 3 集，22～36頁，広島大学 大学教育研究センター，1975年 3 月。
2. 関 正夫「戦前期における中等・高等教育の構造と入学者選抜」『大学論集』第 6 集，135～173頁，広島大学 大学教育研究センター，1978年 8 月。
3. 関 正夫「理工系大学教育における一般教育の課題」『大学研究ノート』第46号，1～19頁，広島大学 大学教育研究センター，1980年 9 月。
4. 関 正夫「ウースター工業大学の教育改革－テクノロジカル・ヒューマニストの育成をめざして」『一般教育学会誌』第 2 巻 第 1 号，90～95頁，1980年11月。

5. 関 正夫「日本における理工系大学制度の展開－1950年～80年－学部・学科構成の変遷に
関して」『大学論集』第10集, 39～64頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1981年11月.
6. 関 正夫「一般教育における＜学問研究＞の役割－＜研究論文＞のすすめ」『一般教育学会
誌』第4巻 第1号, 27～32頁, 1982年5月.
7. 関 正夫「戦前期大学教育のカリキュラムに関する史的考察－帝国大学における法学・医
学教育を中心として」『大学論集』第11集, 125～151頁, 広島大学 大学教育研究センター,
1982年12月.
8. 関 正夫「国際バカロレアと国際学校のカリキュラム」『一般教育学会誌』第5巻 第1号,
23～30頁, 1983年5月.
9. 関 正夫「札幌農学校の教育－一般教養教育を中心として」『大学論集』第12集, 73～98頁,
広島大学 大学教育研究センター, 1983年12月.
10. 関 正夫「工業大学の課題を考える－日米比較の視点から」『大学論集』第13集, 77～102
頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1984年10月.
11. 関 正夫「大学の一般教育－専門教育の視点から－工学の場合」『教育学研究』第52巻 第
1号, 55～58頁, 日本教育学会, 1985年3月.
12. 関 正夫「工学教育の改革課題を考える－日米工業大学の比較史的観点から」『工業教育』
第33巻 第3号, 69～77頁, 日本工業教育協会, 1985年5月.
13. 関 正夫「Faculty Developmentに関する一考察－英・米の場合」『一般教育学会誌』第8
巻 第1号, 60～71頁, 1986年5月.
14. 関 正夫「国際化時代における大学の一般教育－科学技術教育論の立場から－」『一般教育
学会誌』第8巻 第2号, 31～34頁, 1986年11月.
15. 関 正夫「生涯教育の観点からみた継続教育改革の課題」『工学教育』第35巻 第1号
55～57頁, 日本工業教育協会, 1987年1月.
16. 関 正夫「戦後日本の大学における教育研究組織の変遷－国立大学の場合－」『大学論集』
第16集, 1～24頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1987年3月.
17. 関 正夫「一般教育学会としてのFD活動の課題」『一般教育学会誌』第9巻 第1号,
23～29頁, 1987年5月.
18. 関 正夫「大学教育改革の方法試論－自己改革の条件の検討」『大学論集』第17集, 1～22
頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1988年3月.
19. 関 正夫「旧制高等学校のカリキュラムに関する考察」『一般教育学会誌』第10巻 第1号,
40～49頁, 1988年5月.
20. 関 正夫「大学の個性化と一般教育」『一般教育学会誌』第10巻 第2号, 18～22頁, 1988
年11月.
21. 関 正夫「動機づけの科学と大学教師」『医学教育』第20巻 第1号, 11～16頁, 日本医学
教育学会, 1989年2月.
22. 関 正夫「日本の大学教育の改革方法に関する一考察」『大学論集』第18集, 1～27頁, 広

- 島大学 大学教育研究センター，1989年 3 月。
23. 関 正夫「基調提案：大学の自己評価の方法を考える」『一般教育学会誌』第11巻 第 1 号，14～20頁，1989年 5 月。
 24. 関 正夫「現代日本の高等教育－その現状と課題」『学報 I - A：教育研究』35集，169～189 頁，国際基督教大学 教育研究所，1990年 3 月。
 25. 関 正夫「日本の大学における教育と研究に関する一考察－物理学分野の学部段階教育・研究に関する国際比較の視点から」『大学論集』第19集，23～52頁，広島大学 大学教育研究センター，1990年 3 月。
 26. 関 正夫「新しい大学教員の養成機能の整備－大学教育改革と大学院改革を結ぶ一つの視点」『一般教育学会誌』第12巻 第 1 号，12～15頁，1990年 5 月。
 27. 関 正夫「教育評価の原理と方法に関する一考察－日本の大学教育の自己改革を志向する視点から」『大学論集』第20集，1～31頁，広島大学 大学教育研究センター，1991年 3 月。
 28. 関 正夫「学士課程教育としての一般教育と専門教育」『立命館大学教育科学研究』第 2 号，47～62頁，立命館大学教育科学研究所，1992年 3 月。
 29. 関 正夫「大学評価の諸問題」『教育学研究』第59巻 第 1 号，87～90頁，日本教育学会，1992年 3 月。
 30. 関 正夫「大学教育経営の現代化試論－学校経営論と学校評価論等から学ぶ」『大学論集』第21集，1～30頁，広島大学 大学教育研究センター，1992年 3 月。
 31. 関 正夫「大学の自己評価の今後の課題－総合評価システムの理論的検討枠組みの検討」『一般教育学会誌』第14巻 第 1 号，43～56頁，一般教育学会，1992年 5 月。
 32. 関 正夫「大学評価のあり方を考える」『日本の科学者』Vol.28, No.1，4～9 頁，日本科学者会議，1993年 2 月。
 33. 関 正夫「大学教育に関する研究－回顧と展望」『大学論集』第22集，11～33頁，広島大学 大学教育研究センター，1993年 3 月。
 34. 関 正夫「現代大学における教育改革の一方向－フンボルトの教養理念の現代的意義の検討」『大学論集』第23集，1～25頁，広島大学 大学教育研究センター，1994年 3 月。
 35. 関 正夫「大学の自己評価の現状と課題」『一般教育学会誌』第16巻 第 1 号，18～20頁，1994年 5 月。
 36. 関 正夫「社会の変動と学問・教育等への影響－現代大学の本質的問題へのアプローチ」『大学論集』第24集，1～31頁，広島大学 大学教育研究センター，1995年 3 月。
 37. 関 正夫「学部教育の現状と課題－歴史的・国際的視点からの検討－新しい時代における広島大学の教育理念の構築をめざして」『学部教育とカリキュラムの改革－広島大学の学部教育に関する基礎的研究』173～209頁，広島大学 大学教育研究センター，1995年 3 月。

(2) 高等教育関係－学会シンポジウム等の司会者報告・総括報告等

1. 清水畏三・関 正夫「シンポジウム II <改訂学習指導要領をめぐる諸問題>を司会して」

- 『一般教育学会誌』第3巻 第2号, 46~49頁, 1981年11月.
2. 関 正夫「<大学教育における論述作文・読書及び対話・討議に関する意味づけと方策> 部会のまとめ」『一般教育学会誌』第4巻 第2号, 45~50頁, 1982年12月.
 3. 堀地 武・関 正夫「第1・第2 課題研究集会を司会して」『一般教育学会誌』第5巻 第2号, 89~96頁, 1983年12月.
 4. 関 正夫「第1・第2 課題合同研究集会報告」『一般教育学会誌』第7巻 第1号, 10~26頁, 1985年5月.
 5. 関 正夫「課題研究集会報告」『一般教育学会誌』第7巻 第2号, 32~33頁, 1985年12月.
 6. 関 正夫「課題研究関連部会を司会して—総合討論のまとめ」『一般教育学会誌』第9巻 第2号, 61~63頁, 1987年11月.
 7. 関 正夫「シンポジウム<これからの国公立大学の将来を考える>のまとめ」『大学研究ノート』第71号, 69~72頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1988年1月.
 8. 関 正夫「課題研究関連部会を司会して—総合討論のまとめ」『一般教育学会誌』第9巻 第2号, 61~63頁, 1987年11月.
 9. 関 正夫他「昭和62年度第3 課題研究集会—第1セッション<総合科目の新しい位置づけ>を司会して」『一般教育学会誌』第10巻 第1号, 6~8頁, 1988年5月.
 10. 関 正夫・安岡高志「<シンポジウムII: 大学の自己評価>を司会して」『一般教育学会誌』第13巻 第1号, 46~47頁, 1991年5月.
 11. 関 正夫「<研究交流部会IV 自己評価とFD—大学教育の自己改革を進める視点から>を司会して」『一般教育学会誌』第14巻 第2号, 58~59頁, 1992年11月.
 12. 関 正夫・田浦武雄「1993年度課題研究集会第2セッション<大学評価・一般教育の自己評価の実施>に関する報告」『一般教育学会誌』第15巻 第1号, 16~23頁, 1993年5月.
 13. 関 正夫「<研究交流部会II 自己評価とFD—大学白書づくりの観点から>に関する報告」『一般教育学会誌』第15巻 第2号, 58~68頁, 1993年11月. 88~92頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1994年10月.
 15. 関 正夫「セッションIII: 第6 課題研究<大学の自己評価の方法>の課題; 問題提起」『一般教育学会誌』第17巻 第1号, 1994年5月 (印刷中).

(3) 物理学関係—学術論文

1. J. SANADA, M. SEKI et al. "Measurement of the Polarization in Proton-Helium Elastic Scattering." Jour. Phys. Soc. Jap.: Vol. 15, No. 5, pp754-759 (1960, May)
2. M. SEKI et al. "Characteristics of High Frequency Ion Source." Memo. Facu. Sci. Kyushu Univ.: Vol. 38, No. 1, pp9-15 (1960)
3. M. SONODA, M. SEKI et al. "Ion Optics in Long, Multistage Accelerator Tubes." Jour. Phys. Soc. Jap.: Vol. 15, No. 9, pp1680-1684 (1960, Sep.)
4. 関 正夫 他「偏極イオン源」『原子核研究』Vol. 5, No. 2, 139~146頁, 1960年.

5. M. SONODA, M. SEKI et al. "A High Frequency 500KV Cockcroft-Walton Accelerator" Memo. Fac. Eng. Kyushu Univ.: Vol. 10, No. 4, pp367-383 (1961)
6. M. SONODA, M. SEKI et al. "Magnetic Field of Alternately Charged Symmetric Multipole Magnet." Nucl. Instr. & Method: Vol. 12, pp349-352 (1961)
7. A. KATASE, M. SEKI et al. "Experiments on the Existence of Di-neutrons." Jour. Phys. Soc. Jap. : Vol. 12, p1211 (1962)
8. 関 正夫 他「Helium Ion による U^{238} 及び Th^{232} の核分裂」『原子核研究』Vol. 7, No. 6, 187~222頁, 1963年.
9. 関 正夫 他「55.3Mev陽子によるウランの核分裂におけるエネルギー及び質量分布」『原子核研究』Vol. 8, No. 3, 356~400頁, 1963年.
10. M. SEKI et al. "Energetics of Fission Induced of Th^{232} Induced by 27.8Mev Helium Ions." Phys. Letters: Vol. 8, No. 4, pp263-265 (1964, Feb.)
11. 関 正夫 他「Energetics of Fission Induced by 55Mev Protons」『原子核研究』Vol. 9, No. 4, 467~490頁, 1964年.
12. 関 正夫 他「高エネルギー Photonsによる核分裂」『原子核研究』Vol. 9, No. 4, 491~500頁, 1964年.
13. M. SEKI. "Symmetric and Asymmetric Fission of U^{238} Induced by Helium Ions." (学位申請論文) Jour. Phys. Soc. Jap. , Vol. 20, No. 2, pp190-208 (1965, Feb.)
14. 関 正夫 他「近似曲線および分解能の補正の計算」『九州大学工学部集報』第40巻 第3号、312~322頁、1967年6月.
15. 関 正夫 他「核分裂エネルギー・エネルギー相関データの解析」『九州大学工学部集報』第40巻 第4号、482~492頁、1967年7月.
16. J. SANADA, M. SEKI et al. "Proton-Proton Bremsstrahlung at 52.3Mev." Contributions International Conference on Nuclear Structure: TOKYO, JAPAN p12 (1967, Sep.)
17. J. SANADA, M. SEKI et al "Proton-Proton Bremsstrahlung at 52.3Mev." Prog. Theor. Phys. Vol. 39, No. 3, pp853-854 (1968)
18. A. KATASE, M. SEKI et al. "Proton from ^{40}Ca Bombarded with 14.1Mev Neutrons." Nucl. Phys. A-111, pp184-192 (1968)
19. N. RYU, M. SEKI et al. "Polarization in N-P Scattering Using 32-Mev Polarized Neutron from the D-T Reaction." International Conference in Polarization pp281-282 (1970)
20. N. RYU, M. SEKI et al. "Polarization of Neutrons from the d-t Reaction and in n-p Scattering." Nucl. Phys. A-180, pp657-667 (1972)

III 調査報告・改革関連委員会報告・講演記録等

(1) 調査報告

1. 関 正夫「工学系学生のための教養教育の改革に関する勧告－アメリカ工業教育協会報告書の概要」『工業教育』第20巻 第3号, 33～39頁, 日本工業教育協会, 1973年3月.
2. 関 正夫「理科系学部における教育の問題について－工学部のカリキュラムを中心として」『第2回研究員集会の記録』16～36頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1973年12月.
3. 関 正夫「大学教育研究の現状について」『教育術研究会資料』ET-75-11, 45～50頁, 電気通信学会, 1976年2月.
4. 関 正夫「教養課程における自然科学教育の歴史と現状」『大学研究ノート』第34号, 1～19頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1978年11月.
5. 関 正夫・上垣内孝彦「教養課程における理科系学生の物理学教育の現状と課題」『大学研究ノート』第34号, 45～56頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1978年11月.
6. 関 正夫「工学系大学院の教育・研究指導体制－広島大学大学院工学研究科の場合」『特別研究・大学院の研究－その2』130～141頁, 国立教育研究所, 1979年3月.
7. 関 正夫・林 義樹「基礎教育および一般教育の改革と課題」『大学研究ノート』第53号, 39～79頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1982年3月.
8. 関 正夫「日本の理工系大学教育の改革動向－教員調査から」『大学研究ノート』第50号, 41～52頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1982年5月.
9. 関 正夫「日本の大学におけるカリキュラムとティーチング－全国大学調査結果の概要」『I D E－現代の高等教育』No.251, 48～54頁, 民主教育協会, 1984年5月.
10. M. SEKI, Y. MATSUNAGA, F. MARUYAMA “Curriculum and Teaching in Japanese Universities: A Report of RIHE National Survey” Reports from the OECD: Japan Seminar on Higher Education, pp13-29. Hiroshima Univ. (1985, Mar.)
11. 関 正夫「大学教育の現状・展望・課題－全国調査のまとめ」『大学研究ノート』第62号, 49～54頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1985年3月.
12. 関 正夫「広島大学総合科学部の10年－全学一般教育改革との関連性を中心に－」『I D E－現代の高等教育』No.283, 29～37頁, 民主教育協会, 1987年6月.
13. 関 正夫「広島大学大学教育研究センターの15年」『大学研究』第1号, 144～150頁, 筑波大学 大学教育研究センター, 1988年3月.
14. 関 正夫「各大学＜大学教育等研究機関＞のあり方－広島大学 大学教育研究センターの経験をふまえて」『一般教育学会誌』第11巻 第2号, 12～15頁, 1989年11月.
15. 関 正夫「大学教育改革の方法におけるFDの位置－調査研究の意図」『高等教育研究叢書2』1～6頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.
16. 関 正夫「日本における大学教育改革の方法－現状と課題－調査研究の総括」『高等教育研究叢書2』95～102頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.
17. 伊藤彰浩, 関 正夫「大学教育の改善・活性化のための方策－自由記述意見の分析」有本

章『大学教育の改善に関する調査研究－全国大学教員調査報告書』(高等教育研究叢書 5)
59～71頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.

18. 関 正夫「課題研究報告：大学の自己評価の方法について」『一般教育学会誌』第12巻 第2号, 29～33頁, 1990年11月.

(2) 改革関連委員会報告・提言等

1. 『広島大学大学問題検討委員会準備委員会答申』広島大学大学問題検討委員会準備委員会, 42頁, 1969年5月, 工学部選出委員として答申作成に参加.
2. 『広島大学改革への提言(仮説0)』広島大学大学改革委員会, 21頁, 1969年7月, 工学部選出委員及び資料担当委員として資料提供及び提言作成に参加.
3. 『当面の改革に関する建議－第1次』広島大学大学改革委員会, 21頁, 1969年9月, 工学部選出委員及び資料担当委員として資料提供及び提言作成に参加.
4. 「<仮説0に関する意見調査>の集計結果」『学内通信』No.24, 1～4頁, 広島大学大学改革委員会, 1970年1月, 工学部選出委員として調査に参加.
5. 「<仮説0に関する意見調査>に際して寄せられた自由意見について」『学内通信』No.25, 4～10頁, 1970年2月, 法学部 辻 秀典選出委員と共同で原案作成.
6. 『広島大学大学改革委員会所蔵資料目録』広島大学大学改革委員会, 1970年2月, 資料担当委員として原案作成.
7. 『当面の改革のための三つの暫定措置について』広島大学大学改革委員会, 81頁, 1970年5月, 規則処分専門員会世話人として第二部「暴力行為に関する暫定措置」44～56頁の原案作成に参加.
8. 『広島大学大学改革委員会所蔵目録－2』広島大学大学改革委員会, 1970年5月, 資料担当委員として原案作成.
9. 関 正夫「学部教育の現状と今後の課題－国際比較の視点から－」『将来構想委員会経過報告II』22～33頁, 広島大学将来構想検討委員会, 1988年1月.
10. 『将来構想検討委員会中間答申(専門委員会中間答申)』広島大学将来構想検討委員会, 1988年12月, 161頁, 同答申第1部「教育方法等改善専門委員会中間答申」(1～109頁)の原案作成と編集を担当.
11. 『21世紀に向けての広島大学のあり方－将来構想検討委員会答申』広島大学 将来構想検討委員会, 1989年4月, 62頁, 同答申第2章「21世紀に向けて広島大学の進むべき方向」(7～10頁)と第3章「教育改革の方向と進め方」(11～21頁)の原案作成, 第8章「管理運営体制のあり方」(41～46頁)と第9章「改革実施のための提言」(47～49頁)を西川恭治委員長と共同で原案作成.
12. 『広島大学教育研究整備基本計画検討特別委員会答申』, 広島大学教育研究整備基本計画検討特別委員会, 1992年3月24日, 104頁, 同答申第3部「自己点検・自己評価システムの開発について」(50～89頁)の原案作成.

13. 『広島大学白書—新しい大学像をめざして—専門深化と総合化—』広島大学自己評価委員会, 1993年5月, 456頁, 同書第I部第3章「統合移転・改革の時代」(16~36頁)第4章「新しい大学像の確立」第1節「21世紀に向けての広島大学の将来構想」(37~40頁)の原案作成.

(3) 講演記録等

1. 関 正夫「現代日本の高等教育改革—課題と方法—一般教育改革の視点から」(基調講演)『公開シンポジウム報告集:一般教育改革の基本的視点』1~8頁, 国庫助成に関する全国私立大学教授会連合, 1989年8月.
2. 関 正夫「技術系複合大学の一般教育と専門教育—人間自然科学部の位置づけをめぐる」『講演会記録』3~17頁, 東京農工大学一般教育部, 1989年12月.
3. 関 正夫「現代日本における大学教育の改革課題を考える—名古屋大学の教育改革に期待するもの」『教養部改革調査報告書』77~85頁, 名古屋大学, 1990年3月.
4. 関 正夫「大学教育の現状と課題」(日本物理学会シンポジウム報告:1990年3月31日)『日本物理学会・第45回大会予稿集 第4分冊』267~268頁, 1990年3月.
5. 関 正夫『大学改革の諸問題—カリキュラム改革を中心にして:教育センター叢書 第1集』1~39頁, 日本大学生産工学部教育センター, 1990年10月.
6. 関 正夫「日本の高等教育の現状と改革動向」(於 厦門大学, 上海市高等教育研究所等, 講演記録, 原稿72枚) 1990年10月.
7. 関 正夫「現代日本の大学教育の改革課題の検討—歴史と国際比較の視点から」(於 厦門大学・杭州大学等, 講演記録, 原稿56枚) 1990年10月.
8. 関 正夫「日本の大学における学部段階教育—歴史・現状・課題」(於 厦門大学, 講義記録, 原稿96枚) 1990年10月.
9. 関 正夫「日本の大学院の歴史・現状・改革動向—国際比較の視点から」(於 厦門大学, 講義記録, 原稿56枚) 1990年10月.
10. 関 正夫「日本の私立大学の歴史・現状・課題」(於 厦門大学, 講義記録, 原稿61枚) 1990年10月.
11. 関 正夫「日本の理工系大学教育改革の課題と方法」(於 厦門大学・浙江大学・上海交通大学等, 講演記録, 原稿76枚) 1990年10月.
12. 関 正夫「経済発展と大学の関係」(於 上海交通大学, 講演記録, 原稿20枚) 1990年10月.
13. 関 正夫「工学系大学教育改革の課題と方策」『中国・四国工業教育協会 第7回研究集会』12~18頁, 1990年12月.
14. 関 正夫「一般教育と教育評価のあり方を考える—大学教育改革の観点から」(講演記録)『第42回 東海地区一般教育研究会報告書』3~22頁, 東海地区一般教育研究会, 1992年2月29日.
15. 関 正夫「大学設置基準の大綱化と一般教育—新しい時代の大学教育の創造を志向して」

- (講演記録)『三重大学一般教育改革に関する中間報告－三重大学がめざす一般教育のあるべき姿』7～34頁，三重大学一般教育検討委員会，1992年3月。
16. 関 正夫「大学教育改革と自己評価」(講演記録)『教養部改革調査報告書』75～108頁，神戸大学教養部，1992年3月。
 17. 関 正夫「新大学設置基準と大学教育の変化」『第40回九州地区大学一般教育研究協議会議事録』75～88頁，九州地区大学一般教育研究会，1992年6月30日。
 18. 関 正夫「大学教育の評価の原理・方法を考える」『第30回 全国大学化学工学・工業化学合同研究集会議事録』13～31頁，第30回全国大学化学工学・工業化学合同研究集会実行委員会事務局(都立大学工学部工業化学科)，1992年12月。
 19. 関 正夫「大学教育の改革課題を考える」『講演記録』55頁，防衛大学企画事務局，1992年12月25日。
 20. 関 正夫「21世紀に向けて工学分野の学士課程教育を考える－国際比較と歴史の観点から」『平成5年度全国大学機械工学教育研究集会 パネル討論会資料』2～11頁，全国大学機械工学教育研究集会事務局(広島大学工学部)，1993年10月。

IV 諸論稿・書評等

(1) 雑誌論稿(学会誌・紀要論文以外)

1. 関 正夫「大学の自治について」『工学部の会資料』No.1，7～11頁，広島大学・大学を考える工学部の会，1969年3月。
2. 関 正夫「改革の課題－近代化・合理化を越える」『コミュニケーション』70-1，1～3頁，広島大学工学部，1970年1月。
3. 関 正夫「高エネルギー物理学研究所の問題点」『コミュニケーション』71-7，5～8頁，広島大学工学部，1971年7月。
4. 関 正夫「広島大学改革の課題を問う－組織体としての〈知性〉の創造を」『コミュニケーション』73-2，1～12頁，広島大学工学部，1973年2月。
5. 関 正夫「〈新しい大学院〉の意義と今後の課題」『IDE－現代の高等教育』No.178，14～17頁，民主教育協会，1977年4月。
6. 関 正夫「青年たちの自然認識の形成と大学教育」『地域と科学者』第4号，55～56頁，日本科学者会議・広島支部，1977年7月。
7. 関 正夫「理工系教育の変容」『IDE－現代の高等教育』No.271，24～34頁，民主教育協会，1986年4月。
8. 関 正夫「広島大学改革への提言(仮設0)の今日的な意味」『学内通信』No.251，8～13頁，広島大学広報委員会，1986年9月。
9. 関 正夫「一般教育の活性化に向けて全学的討議を－一般教育学会開催の意義」『学内通信』No.252，38～42頁，広島大学広報委員会，1987年1月。
10. 関 正夫「学部教育改革の一方向－一般教育と専門教育の関連性を中心に」『教育と医学』

1987年1月号, 15~33頁, 慶応通信, 1987年1月.

11. 関 正夫「大学院の歴史・現状・展望－国際比較の視点から」『学内通信』No.263, 29~37頁, 広島大学広報委員会, 1988年3月.
12. 関 正夫「入学者選抜方法の改革理念を考える」『学内通信』20期5号, 3~9頁, 広島大学広報委員会, 1988年11月.
13. 関 正夫「大学教育研究を考える」『IDE－現代の高等教育』No.300, 65~67頁, 民主教育協会, 1989年2月.
14. 関 正夫「大学教育の歴史的展開－旧制大学・高校教育の光と影」『文部時報』文部省, No.1355, 22~25頁, 1989年12月.
15. 関 正夫「大学教育の現状と課題」(日本物理学会シンポジウム報告:1990年3月31日)『日本物理学会・第45回大会予稿集 第4分冊』267~268頁, 1990年3月.
16. 関 正夫「大学教育の現状と課題」『科学・社会・人間』(物理学者の社会的責任サキュラー)「物理学者の社会的責任」事務局, 第34号, 16~25頁, 1990年10月.
17. 関 正夫「新大学設置基準をどうよむか－一般教育学会会員の立場から」『IDE－現代の高等教育』No.328, 35~43頁, 民主教育協会, 1991年9月.
18. 関 正夫「日本の大学の現状と改革課題」『月刊 Keidanren』第40巻 第6号, 27~31頁, 経済団体連合会, 1992年6月.

(2) 書評・解説等

1. 関 正夫「[書評]: J. B. L. ヘファリン著, 喜多村和之他訳: 大学教育改革のダイナミクス」『大学論集』第18集, 233~235頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1989年3月.
2. 関 正夫「[書評]: 大学セミナー・ハウス編『大学は変る』(国際書院, 1989年)」『IDE－現代の高等教育』No.309, 58~59頁, 民主教育協会, 1989年12月.
3. 関 正夫「[書評]: L. エルトン(香取草之助監訳)『高等教育における教授活動－評定と訓練』(東海大学出版会)」『大学論集』第19集, 368~370頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.
4. 関 正夫「[文献紹介]: P. L. Dressel; Handbook of Academic Evaluation, Jossey-Bass, 1976」伊藤彰浩編『ファカルティ・デベロップメントに関する文献目録および主要文献紹介』(高等教育研究叢書 4) 81~89頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.
5. 関 正夫「[文献紹介]: E. ボイヤー(喜多村和之他訳)『アメリカの大学・カレッジ』(玉川大学出版部, 1989年)」伊藤彰浩編『ファカルティ・デベロップメントに関する文献目録および主要文献紹介』(高等教育研究叢書 4) 103~110頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1990年3月.
6. 関 正夫「Faculty Developmentの解説」『一般教育学会誌』第13巻 第2号, 115~116頁, 一般教育学会, 1991年11月.

7. 関 正夫「[文献案内] 大学基準協会企画（喜多村和之他訳）『大学・カレッジ自己点検ハンドブック』、『じゅあ』No.8, 7頁, 大学基準協会, 1992年10月.
8. 関 正夫「[書評]: 大学基準協会のあり方検討委員会・同小委員会『大学の自己点検・評価の手引』(大学基準協会, 1992年) 及び喜多村和之・早田幸政他訳『大学・カレッジの自己点検ハンドブック』(紀伊国屋書店, 1992年)』、『一般教育学会誌』第14巻 第2号, 101~102頁, 一般教育学会, 1992年11月.
9. 関 正夫「[書評]: 中川米造『学問の生命—<医学とは何か>を問い続け行動する』(佼成出版社, 1991年)』、『大学論集』第22集, 282~283頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1993年3月.
10. 関 正夫「[書評]: 喜多村和之『大学評価とは何か』(有信堂, 1992年) 及び青木宗也編『大学・短大の自己点検・自己評価』(エイデル研究所, 1992年)』、『一般教育学会誌』第15巻 第2号, 166~167頁, 一般教育学会, 1993年11月.
11. 関 正夫「[書評]: 中川米造『学問の生命—医学とは何か』(佼成出版社, 1991年)』、『大学論集』第22集, 282~283頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1993年3月.
12. 関 正夫「[紹介]: 大学教育研究センター編『高等教育改革の新段階—高等教育研究叢書20』(1992年)』、『大学論集』第23集, 368~370頁, 広島大学 大学教育研究センター, 1994年3月.
13. 関 正夫「[書評]: 浅野誠著『大学の授業を変える16章』(大月書店 1994年202頁), 川又淳司著『大学の授業研究』(水曜社 1994年377頁), 和光大学編『大学教育の新しい展開を目指して』(星林社 1993年253頁)』、『大学論集』第24集, 広島大学 大学教育研究センター, 1995年3月(印刷中).

(3) 諸論・意見

1. 関 正夫「一般教育の危機を考える」、『一般教育学会誌』第9巻 第2号(巻頭言) 1頁, 一般教育学会, 1987年11月.
2. 関 正夫「FD活動を考える」、『東海大学教育研究所教育工学部門ニュース』第3号, 1頁, 東海大学教育研究所, 1989年7月.